

岐阜大学

数学

問題

2018年度入試

【学部】 教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部

【入試名】 前期日程

【試験日】 2月25日

【問題解答前の確認事項】

【入試科目】 (イ)数Ⅰ・Ⅱ・A (場 図)・B (列 べ), (ロ)数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A (場 図)・B (列 べ), 工・医 (医)・教育 (数学) 学部は (ロ), 地域科学・応用生物科学・医 (看護) は (イ)を選択, 教育 (数学以外) 学部は (イ)(ロ)のどちらか1つを選択, ただし, 地域科学・医 (看護)・教育 (数学・理科・技術以外) は他教科との選択.

【注意】 (ロ)は 1 ~ 5, (イ)は 1 ~ 3, 6, 7 の合計5問を解答のこと.



「過去問ライブラリー」は、(株)旺文社が刊行する「全国大学入試問題正解」を中心とした過去問、研究・解答 (解答・解説) を掲載しています。本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、(株)旺文社または各情報提供者に帰属します。本サービスに掲載の全部または一部の無断複製、配布、転載、譲渡等を禁止します。各設問に対する「研究・解答」は原則として旺文社が独自に作成したものを掲載しています。掲載問題のうち★印を付したものは、著作権法第67条の2第1項の規定により文化庁長官に裁定申請を行った上で利用しています。

裁定申請日 【2017年】 8/1 【2018年】 4/24、9/20 【2019年】 6/20

1 m, n を $m > n + 1$ をみたす自然数とする. $S(n) = \sum_{k=1}^{6n} k^2$ とする. 以下の間に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) $S(n)$ を n を用いて表せ.
- (2) $S(m) - S(n) = (m - n)T(m, n)$ となる $T(m, n)$ を m, n を用いて表せ.
- (3) $S(m) - S(n) = 2018$ をみたす m, n を求めよ. ただし, 必要ならば, 1009 が素数であることを用いてよい.

2 原点を O とする座標空間に点 $A(2, 0, 0)$, $B(3, \sqrt{3}, 0)$, $C(x, y, z)$ がある. 点 C は内積 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = 2$, $|\overrightarrow{BC}| = 2$ をみたすとする. また, $t = \overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{BC}$ とする. 以下の間に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) t を x を用いて表せ.
- (2) 条件 $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = 2$ から x, y, z がみたす関係式を求めよ. また, 条件 $|\overrightarrow{BC}| = 2$ から x, y, z がみたす関係式を求めよ.
- (3) $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{BC}$ を t を用いて表せ.
- (4) $-2 \leq t \leq 4$ となることを示せ. また, $t = 4$ のとき, 点 C の座標 (x, y, z) を求めよ.
- (5) $|\overrightarrow{OC}|$ の最大値を求めよ.

3 a, b を実数とする. 関数 $f(\theta)$ を $f(\theta) = a \cos^2 \theta + 2 \sin \theta \cos \theta + b \sin^2 \theta$ ($0 \leq \theta \leq 2\pi$) とする. 以下の間に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) 0 以上の実数 r と実数 α, β に対して, $p = r \cos \beta, q = r \sin \beta$ とおく. r を p と q を用いて表せ. また, 次の等式が成り立つことを示せ.

$$r \sin(\alpha + \beta) = p \sin \alpha + q \cos \alpha$$

- (2) 関数 $y = f(\theta)$ の最小値 m , 最大値 M を a, b を用いてそれぞれ表せ.
- (3) すべての θ に対して $f(\theta) \geq 0$ となる条件を a, b を用いて表せ.
- (4) すべての θ に対して $f(\theta) \leq 0$ となる条件を a, b を用いて表せ.
- (5) 関数 $y = f(\theta)$ が θ の値によって正の値も負の値もとりうる条件を a, b を用いて表せ. また, この条件をみたす点 (a, b) 全体の集合を ab 平面上に図示せよ.

4 α を正の定数とする. 極方程式 $r = e^{a\theta}$ ($0 \leq \theta \leq \pi$) で表される xy 平面上の曲線を C とする. 曲線 C 上の点 P の座標を (x, y) とおく. 以下の間に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) x, y を θ を用いてそれぞれ表せ.
- (2) 曲線 C の長さを求めよ.
- (3) 点 P における曲線 C の接線の方程式を θ を用いて表せ. ただし, $0 < \theta < \pi$ とする.
- (4) 曲線 C 上の点 P と原点を通る直線を l , 点 P における曲線 C の接線を m とする. l と m のなす角は P によらず一定であることを示せ.
- (5) l と m のなす角が $\frac{\pi}{12}$ となるような a の値を求めよ.

5 以下の間に答えよ. (配点比率 20%)

(1) 次の定積分を求めよ. $\int_0^1 \frac{\log(x+1)}{x+1} dx$

(2) 次の定積分を求めよ. $\int_0^1 \frac{\log(x+1)}{(x+1)^2} dx$

- (3) 正の実数 x, h に対して, 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\frac{1}{x} - \frac{h}{x^2} < \frac{\log(x+h) - \log x}{h} < \frac{1}{x}$$

(4) 次の極限値を求めよ. $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n \left(\log \frac{k+n+1}{k+n} \right) \log \frac{k+n}{n}$

6 最初 A, B, C の 3 人が, A を先頭に A, B, C の順で一列に並んでいる. さいころを投げるたびに, 以下の操作を行う.

- 1 の目が出たら, 先頭の人と 2 番目の人を入れ替える.
- 2 の目が出たら, 2 番目の人と 3 番目の人を入れ替える.
- 1, 2 以外の目が出たら, 入れ替えを行わない.

n を自然数とする. n 回さいころを投げた後に A が先頭にいる確率を p_n , A が 2 番目にいる確率を q_n とする. 以下の問に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) p_1, q_1 を求めよ.
- (2) p_{n+1}, q_{n+1} を p_n, q_n を用いてそれぞれ表せ.
- (3) q_n を求めよ.
- (4) $a_n = 2^n \left(p_n - \frac{1}{3} \right)$ とおき, a_{n+1} と a_n の関係式を求めよ. さらに, p_n を求めよ.

7 $a > 1$ とする. 自然数 n に対して,

$$S_n = a^{3n+3} - 1$$

$$T_n = (a - 1)(a^2 + a + 1) \sum_{k=1}^{n+1} a^{3k-3}$$

とする. 以下の問に答えよ. (配点比率 20%)

- (1) $S_1 = T_1$ を示せ.
- (2) すべての n に対して, $S_{n+1} - S_n$ と $T_{n+1} - T_n$ が等しいことを示せ. また, 数学的帰納法を用いて, $S_n = T_n$ を示せ.
- (3) $2^{15} - 1$ を 7 で割ったときの余りを求めよ.
- (4) 5^{2018} を 31 で割ったときの余りを求めよ.